

REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成25年度 カメルーン共和国



contents

1	森林の概況	1
1.1	経年変化	1
1.2	今後の森林計画等	2
2	REDDプラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDDプラス実施体制	3
2.3	FCPF及びUN-REDDへの参加	5
2.4	REDDプラスロードマップの作成	5
2.5	REDDプラス実施のための国内制度設計	5
2.6	活動スケジュール及び資金計画	5
2.7	REDDプラスへの取組(年表)	6
2.8	その他	6
3	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	7
3.1	主だったREDDプラス関連事業の実施状況	7
3.2	日本の支援状況	11
4	その他	12
4.1	UNFCCCへの関与情報	12
4.2	UNFCCCへ提出している森林情報	12
4.3	その他の特徴的な地球温暖化対策	12

1

森林の概況

- カメルーンはアフリカ西部コンゴ盆地の西端に位置し、国土面積の約42%に相当する約20百万haが森林に覆われている¹。森林は主に熱帯雨林であり、低地常緑林が全森林面積の約54%、低地半落葉樹林が約28%を占める²。沿岸部には約120千haのマングローブ林が生育し、また内陸部には劣化した低地半常緑林がモザイク状に分布している²。
- カメルーンの森林は全て国有林であるが、その管理は国が森林面積の約56%、民間事業者等が約41%、コミュニティが約3%を担っている¹。また、森林面積の約46%が保護林、約39%が管理計画を有する森林である¹。
- カメルーンは、コンゴ盆地諸国において森林減少速度が最も大きい国の1つである。その速度は経年的に上昇傾向にあり、2000年～2005年における平均的な年間森林減少面積は森林面積の約1%に達している³。森林減少・森林劣化の主な要因は、農地開発(生産性の低い農地への転用)、燃料材の収穫及び低効率利用、違法伐採、鉱山開発、インフラ開発等である³。
- カメルーンは、「森林法の施行・ガバナンス・貿易に関する欧州連合行動計画(Forest Law Enforcement, Governance and Trade : FLEGT)」に基づいて違法伐採対策を進めている(2010年5月にEUとの間で自主的・二国間協定に署名)⁴。REDDプラス戦略はこうした取組と連携しつつ策定されている。
- 2013年以降、REDDプラスのポテンシャル評価やパイロット事業等を順次実施し、2015年中にREDDプラス戦略を策定する予定である。

1.1 経年変化

表 1-1 カメルーンの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) ⁵ (千人)	12,181	15,678	19,599
GDP ⁵ (百万米ドル)	11,152	10,075	22,480
1人あたりGDP ⁵ (米ドル/人)	972	592	1,207
GDP成長率 ⁵ (%)	-6.1	4.2	3.2
国土面積 ¹ (千ha)	47,544	47,544	47,544
森林面積 ¹ (千ha)	24,316	22,116	19,916
森林率(%)	51.1	46.5	41.9
年平均森林減少面積 ¹ (千ha/年)	-	220	220
Primary Forest ¹ (千ha)	-	-	-
Other naturally regenerated forest ¹ (千ha)	-	-	-
Planted Forest ¹ (千ha)	-	-	-
Carbon stock in living forest biomass ¹ (百万t)	3,292	2,993	2,696

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典：FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

² 出典：ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011.

³ 出典：Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon.

⁴ 出典：The REDD Countries Database (2011) Cameroon: An Overview from the REDD Countries Database.

⁵ 出典：UN data

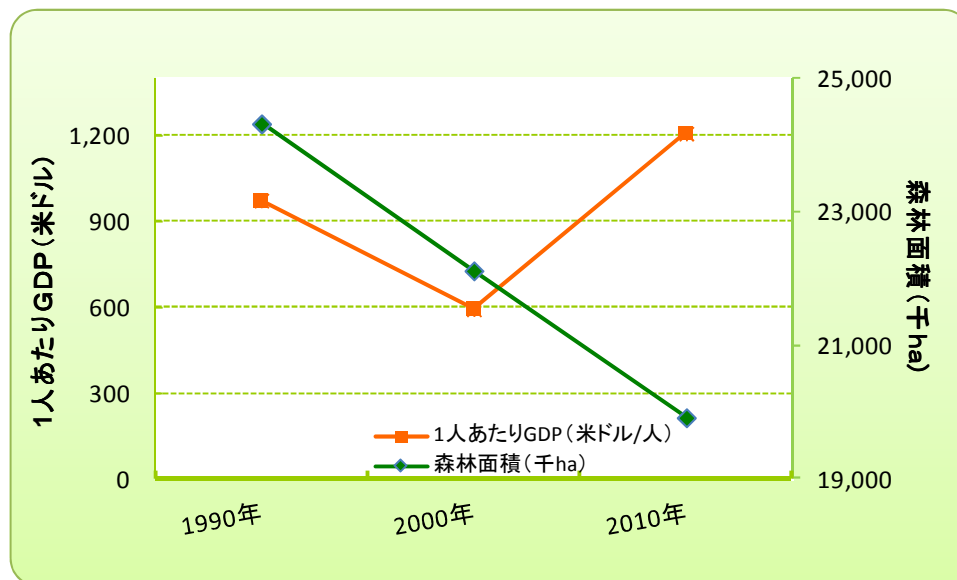


図 1-1 カメルーンの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)¹

1.2 今後の森林計画等

- 1994年に改定された森林法において森林の持続可能な利用に向けた方向性が示された。2005年には政府内部において林業と環境に関する政策文書の署名が行われ、持続可能な森林経営に関する基本原則が定められた⁶。

⁶ 出典：ITTO（2011）Status of Tropical Forest Management 2011.

2

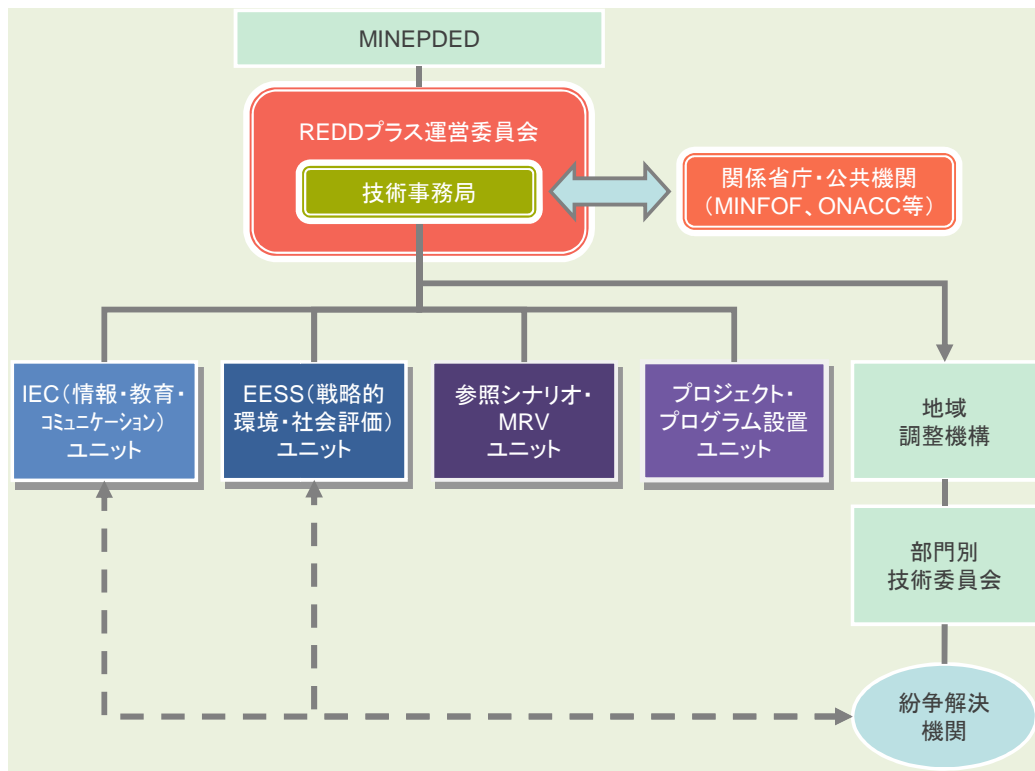
REDDプラスへの取組状況

2.1 取組開始

- カメルーンは、2007年、欧州の全地球的環境・安全モニタリング（Global Monitoring for Environment and Security : GMES）の枠組みの下でREDDプラスのパイロットプロジェクトを開始した（森林保全プロジェクトは2007年以前から実施）。開始当初、プロジェクトはリモートセンシング技術を用いた森林被覆のモニタリング調査に限られていたが、その後ドイツ復興金融公庫（Kreditanstalt für Wiederaufbau : KfW）や当時のドイツ技術協力公社（Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit : GTZ、現ドイツ国際協力公社（Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit : GIZ））の支援を受け、炭素ストック量の評価や排出・吸収量の算定に係る能力開発まで活動範囲を拡大した⁴。

2.2 REDDプラス実施体制³

- カメルーンでは、現在、REDDプラスの実施体制の整備が進められている。具体的には、2012年に実施体制の計画が立案され、その実施に向けて関係機関の整備や人材育成等に着手している。カメルーンのREDDプラス実施機関は環境・自然保護・持続的開発省（Ministre de l'Environnement, de la Protection de la Nature et du Développement Durable : MINEPDED）であり、関係省庁との連携や地方組織の支援を通してREDDプラス戦略を作成する予定である。
- 各プロセスの意思決定はREDDプラス運営委員会（REDD+ Steering Committee）が行う。運営委員会は環境・自然保護・持続的開発省（MINEPDED）を含む関係省庁、市民社会、先住民、民間セクター等から構成され、REDDプラスに係る政策や戦略の立案、プロジェクト選定基準の作成、提出されたプロジェクト計画の評価等を担当する。
- REDDプラスに関する取組の実際の運営は、環境・自然保護・持続的開発省（MINEPDED）の下に設置される技術事務局（Technical Secretariat）が担当する。技術事務局は、UNFCCCの主管でもある。技術事務局内には次の分野別ユニットを設置し、REDDプラス戦略の実施に向けた技術支援を行う。
 - IEC（情報・教育・コミュニケーション）ユニット（2名）：関係者間のコミュニケーションに関する事項のほか、省庁間調整の支援を担当
 - EESS（戦略的環境・社会評価）ユニット（3名）：環境的・社会的側面に関する評価ツールの整備等を担当
 - 参照シナリオ・MRVユニット（3名）：参照シナリオやMRVシステムの整備、登録簿の管理を担当
 - プロジェクト・プログラム設置ユニット（2名）：プロジェクト／プログラムの設置、進捗管理、REDDプラス戦略への成果反映等を担当



(注) MINFOF : Ministre des Forêts et de la Faune
ONACC : Observatoire National sur les Changements Climatiques

図 2-1 カメルーンにおけるREDDプラス実施体制⁷

表 2-1 カメルーンのREDDプラス関係省庁及びその役割⁸

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
環境・自然保護・持続的開発省 (MINEPDED)	<ul style="list-style-type: none"> REDDプラスの実施機関 プロジェクトの有効化審査や承認等を実施
森林・野生生物省 (Ministre des Forêts et de la Faune : MINFOF)	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の構成メンバー (MINEPDEDとともに中心的な役割) REDDプラスとFLEGTプロセスとの一貫性確保や相乗効果発揮に向けた調整を実施
国立気候変動観測所 (Observatoire National sur les Changements Climatiques : ONACC)	<ul style="list-style-type: none"> MINEPDED及び財務省の管理下にある行政機関。気候変動対策の効果のモニタリング・評価を実施 REDDプラス活動のモニタリングのほか、REDDプラス戦略の策定に対する技術的支援
地域調整機構 (Regional Coordination Structure)	<ul style="list-style-type: none"> 技術事務局と部門別調整機構の連携促進を担当
部門別技術委員会 (Departmental Technical Committees)	<ul style="list-style-type: none"> MINEPDED及びMINFOFの部門別代表者及びすべてのステークホルダーが構成 ローカルレベルの活動 (REDDプラス活動のモニタリング、REDDプラス戦略策定に向けた情報の収集と提供等) を実施
紛争解決機関 (Conflict Resolution Bodies)	<ul style="list-style-type: none"> ローカルレベルの紛争の解決を図る機関。首長や公共機関、市民社会が構成 (紛争内容や規模によって変化) 紛争は技術事務局のEESSユニットと調整を図りながら解決 (情報はIECユニットに蓄積)

⁷ 出典 : Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon : 5 Figure 1.

⁸ 出典 : Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon : 5-10.

2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- カメルーンは世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金（Forest Carbon Partnership Facility : FCPF）の参加国である。2008年7月にReadiness Plan Idea Note（R-PIN）を提出し、2010年11月に200千米ドルの支払いが行われた。また、2012年9月に、Readiness Preparation Proposal（R-PP）を提出した。

2.4 REDDプラスロードマップの作成³

- R-PPに2015年までのREDDプラスロードマップが示された。ロードマップはFCPFのR-PPの様式に基づいており、以下の項目を網羅している。
 - 準備段階の活動（実施体制の構築等）
 - ステークホルダーとの情報共有と対話
 - 土地利用、森林政策、ガバナンスの評価
 - REDDプラス戦略の策定
 - 参照レベルの作成
 - モニタリングシステムの設計

2.5 REDDプラス実施のための国内制度設計

2.5.1 REDDプラス実施にあたっての許可制度

- REDDプラス実施にあたっての明確な許可制度はない。
- 森林を所有している国と、対象地の管理主体となっている者（国、コミュニティまたは民間事業者）との協議を経て、REDDプラス活動を実施していると考えられる。

2.5.2 利益配分システム

- 利益配分システムは構築されていない。

2.6 活動スケジュール及び資金計画

- カメルーンの主なREDDプラス資金は、二国間あるいは多国間によるプロジェクト支援に由来する。例えば、デンマーク国際開発事業団（Danish International Development Agency : DANIDA）、KfW、GIZ、EU、英国国際開発省（Department for International Development : DFID）、地球環境ファシリティ（Global Environment Facility : GEF）等である。
- 日本は、2009年度に、森林破壊の抑制や温室効果ガスの排出削減への貢献のため、無償資金協力として8億円の資金を支援した。
- FCPFからも、既に200千米ドルの資金提供を受けている。加えて、2012年9月に提出したR-PPが受理されると、3,600千米ドルの追加支払いを受ける予定である。

表 2-2 FCPFの資金支援に基づく活動及び資金計画⁹ (単位:千米ドル)

活動	資金計画
国ベースのREDDプラス準備段階の取組	1,600
REDDプラス準備段階の調整	900
技術事務局チームの立ち上げ	350
技術事務局の運用	400
準国ベースのREDDプラスの枠組み構築	150
関係者の参画促進の取組	700
FCPF資金の下で実施される活動への関係者の参加促進	300
準国ベースのREDDプラスの枠組み強化	350
REDDプラスのコミュニケーション戦略の実施	50
国家REDDプラス戦略の構築支援	1,350
国家REDDプラス戦略の策定準備	300
森林減少・劣化の要因の詳細な分析	150
森林減少・劣化への対策オプションの詳細な分析	150
戦略的環境・社会評価 (Strategic Environmental and Social Assessment : SESA) の実施	600
SESAに関する専門家の雇用	200
環境・社会面の管理枠組み (Environmental Social Management Framework : ESMF) の構築	400
問題解決メカニズムの構築	200
REDDプラスの国ベースでの実施枠組みの構築	250
REDDプラスの国家参照シナリオの策定・情報公開	650
計	3,600

2.7 REDDプラスへの取組(年表)

表 2-3 REDDプラスに関する主な取組

REDDプラスに関する主だった取組	
2007年	■ パイロットプロジェクトを開始
2008年	■ 世界銀行FCPFへR-PINを提出
2010年	■ 世界銀行FCPFからR-PP作成のための資金(20万米ドル)を受領
2012年	■ 世界銀行FCPFへR-PPを提出
2013年以降	■ REDDプラスのポテンシャル評価やパイロット事業等を順次実施 ■ 2015年中にREDDプラス戦略を策定

2.8 その他

- カメルーンは2005年以降、中央アフリカ森林協議会 (Commission des Forêts d'Afrique Centrale : COMIFAC) のメンバー国としてREDDプラスに係る国際交渉に強く関与している。

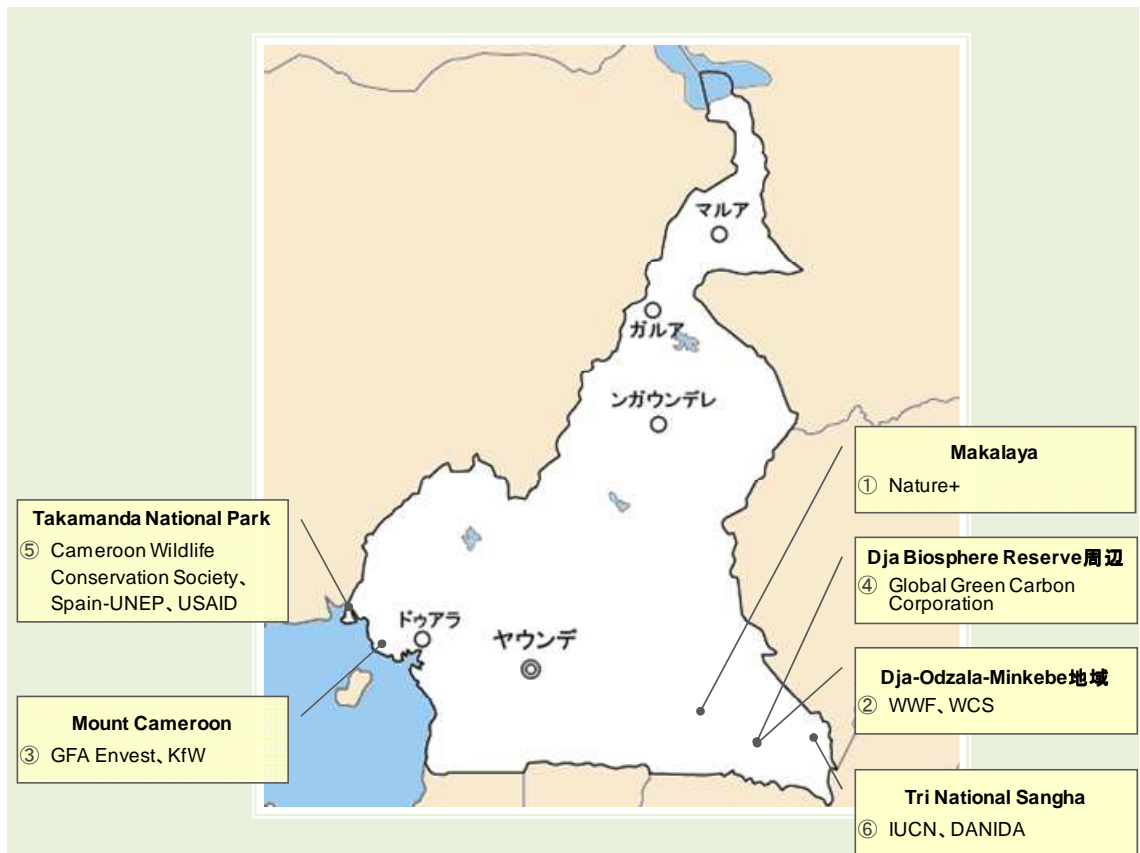
⁹ 出典 : Republic of Cameroon (2013) REDD Readiness Progress Fact Sheet, October 2013.

3

主だったREDDプラス関連事業の実施状況

3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- カメルーンにおいて実施されているREDDプラス活動は、目的、実施段階ともに様々である。
- 対象地が複数国にまたがるプロジェクトが比較的多いことも特徴の1つである。
- 主なドナーは、NGOと欧州各国の援助機関である。



(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

図 3-1 カメルーンにおける主だったREDD関連事業の実施地域と実施団体

表 3-1 カメルーンにおける主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
①	NGOによる 支援	Nature+	Makalaya	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Sustainable Forest Management in East Cameroon」¹⁰。 2002年にプロジェクトを開始したが、取組は既に終了。 植生地図の作成を目的としてNGOがカメルーン国内の森林関連企業を技術支援。インベントリの作成、管理計画の立案、生態系や商用材に関する研究、森林認証に向けた助言等を実施。
②	NGOによる 支援	World Wildlife Fund (WWF)、 Wildlife Conservation Society (WCS)	Dja-Odzala-Minkebe地域	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project - Boumba Bek and Nki」¹¹。 2003年にプロジェクト開始。 対象面積は約15百万ha。 自然資源の管理能力を強化することによって、森林の劣化や生物多様性の損失を抑制。
—	NGOによる 支援	MINFOF、 Planet Survey	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Forest Governance Facility」¹²。 2006年にプロジェクト開始。 森林政策の立案・実施に行政以外の参加を促すため、政策に関連する公有地を整備。 2011年、プロジェクトの管理がオランダのNetherlands Development Organisation (SNV) からPlanet Survey (カメルーン国内のNGO) へ移行。
—	二国間 基金	ドイツ政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> 2007年にGMESの枠組みの下でパイロットプロジェクトを開始¹³。 プロジェクト開始当初はリモートセンシング技術を用いた森林被覆のモニタリング調査に限られていたが、その後、KfWやGTZ (現GIZ) の支援を受け、炭素ストック量の評価や排出・吸収量の算定に係る能力開発まで活動範囲を拡大。

¹⁰ 出典：Planet Action (2012) Sustainable Forest Management in East Cameroon.

¹¹ 出典：WWF (2012a) Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project - Boumba Bek and Nki.

¹² 出典：DFID (2012) Forest Governance Facility.

¹³ 出典：MINEP, GAF (2009) Preliminary Results and Perspectives of the REDD Pilot Project in Cameroon.

表 3-1 つづき

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
③	民間 事業者 による 支援	GFA Invest、 KfW	Mount Cameroon	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Mt. Cameroon- REDD+ Feasibility Study」¹⁴。 2008年に実施された短期プロジェクト。 対象地におけるREDDプラスの実現可能性を評価。森林減少の影響評価、ドライバー特定、緩和戦略の検討、ベースラインシナリオ作成を実施。 プロジェクト終了後、MINFOF及びMINEPDEDとプロジェクト形成について協議。2010年、新たにプロジェクトが開始された。
—	NGOによる 支援	Global Witness、 DFID	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> 2008年にプロジェクト開始(期間は4年間)¹⁵。 森林セクターにおける市民社会の関与拡大を目的に、地域のNGOのモニタリング能力を強化。 DFID(英国)が500千ドルを拠出。
—	NGOによる 支援	Alternatives to Slash and Burn Partnership for the Tropical Forest Margins (ASB)、 ノルウェー開 発協力局 (Norwegian Agency for Development Cooperation : NORAD)	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「REAU: Reducing Emissions from All Land Uses」¹⁶。 2009年に取組開始。 途上国におけるREDDプラス戦略の策定と実施能力の強化を目的として、森林減少・劣化要因の分析、焼畑農業から炭素貯留型アグロフォレストリーへの転換、あるいはプランテーションから小規模林業への転換に関する方策のレビューを実施。 NORAD(ノルウェー)が資金を援助。

¹⁴ 出典：GFA Invest（2012）Mt. Cameroon- REDD+ Feasibility Study.

¹⁵ 出典：REDD Desk（2012）Making the Forest Sector Transparent.

¹⁶ 出典：ASB（2012a）Reducing Emission from All Land Uses.

表 3-1 つづき

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施				
—	NGOによる 支援	ASB、EC	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「REDD-ALERT」¹⁷。 2009年に取組開始。 多様なドライバーの文書化、森林の転用比率や炭素ストック変化量の定量化、定量化手法の改善、政策オプションの特定・評価等を実施。 ECが資金を援助。
④	民間 事業者 による 支援	Global Green Carbon Corporation	Dja Biospher e Reserve 周辺	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「The Dja Biosphere Regional REDD+ Project」¹⁸。 2011年にプロジェクト開始。 約1,229千haの対象地の保護強化、持続可能なアグロフォレストリーの実施、森林減少や密猟の抑制、緩衝地帯における再植林活動を実施。 実施にあたっては研究機関と連携。
⑤	NGOによる 支援	Cameroon Wildlife Conservation Society、 Spain- UNEP、米国 国際開発庁 (United States Agency for International Development : USAID)	Takaman da National Park	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「Explore economic incentives to conserve Cross River gorilla habitat in Takamanda」^{19, 20}。 2011年にプロジェクト開始。 対象地面積は、約430千ha。 クロスリバーゴリラの生息域の保護は、地域の生態系サービスの適正管理につながり、したがって地域住民の生計を維持することになる。また、重要な炭素吸収源を保護することにもなる。 Spain-UNEP PartnershipとUSAID (米国)が資金を援助。
⑥	NGOによる 支援	国際自然保護 連合 (International Union for Conservation of Nature and Natural Resources : IUCN)、 DANIDA	Tri National Sangha	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト名「IUCN's Pro-poor REDD project」²¹。 REDDプラスの行動計画や戦略に、貧困削減の要素を明確に位置付けることを目指したプロジェクト。 デンマーク(DANIDA)が資金を援助。

¹⁷ 出典：ASB (2012b) REDD-ALERT.

¹⁸ 出典：Global Green Carbon (2010) Cameroon/ The Dja Biosphere Regional REDD+ Project.

¹⁹ 出典：Spain-UNEP (2012) Takamanda National Park, Cameroon.

²⁰ 出典：CBD (2012) Conserving the Cross River Gorilla Landscape: Piloting a landscape-scale approach to Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD).

²¹ 出典：IUCN (2012) IUCN's Pro-poor REDD project.

表 3-1 つづき

	事業/ 支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
資金支援				
—	NGOに よる 支援	WWF	Southeast Cameroon	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Sustainable forest management in Southeast Cameroon」²²。 ■ 持続可能な森林経営や森林認証イニシアティブを促進するため、カメルーン東南部にある林産企業を支援。 ■ WWFの拠出額は年間10万米ドル。
—	国際基金	FCPF	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ R-PP作成の支援として、20万米ドルを拠出。

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

3.2 日本の支援状況

- 次の無償資金協力を実施してきた。
 - 環境プログラム無償「森林保全計画」(2009年度)²³ : 森林の基礎情報の収集、モニタリング、評価等に必要な資機材を調達するために800百万円の資金供与を実施。
 - 「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画」(2011年度)²³ : ITTOと連携し、森林技術者育成支援のため、持続可能な森林経営に関する訓練プログラムの策定、訓練プログラム実施に必要な施設・機材の整備、そして各国の森林従事者人材育成機関の講師による指導のための訓練活動を実施。資金支援額は278百万円(ただし、カメルーン共和国、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、中央アフリカ共和国に対する合計額)。

²² 出典 : WWF (2012b) Sustainable forest management in Southeast Cameroon.

²³ 出典 : 外務省 (2012) 国際協力 国別プロジェクト概要 カメルーン共和国。

4

その他

4.1 UNFCCCへの関与情報

4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況²⁴

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	批准：1995年12月18日
京都議定書	批准：2002年8月22日
DNA担当組織	環境省（MoE）
第1次国別報告書	2002年10月8日提出
第2次国別報告書	未提出（2013年12月31日現在）

4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ²⁵

- REDDプラスやCDM、再植林活動のほか、国家緩和戦略の一部として策定される緩和行動を通じてNAMAsに着手する予定である。

4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/R CDMのための森林定義²⁶

項目	値
森林面積	最小0.5ha
樹冠率	最低10%
樹高	最低5m

表 4-3 A/R CDMの対象森林²⁶

項目	A/R CDMの対象状況
ゴム林	（記載なし）
竹林	対象
オイルパーム	対象外

4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- 中央アフリカ森林協議会（COMIFAC）への参加を通じて持続可能な森林経営を推進している。

²⁴ 出典：UNFCCC（2013a）Parties & Observer States: Cameroon.

²⁵ 出典：UNFCCC（2011）Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention.

²⁶ 出典：UNFCCC（2013b）Designated National Authorities.

出典・参考資料

- ASB (2012a) Reducing Emission from All Land Uses. ASB
<http://www.asb.cgiar.org/index.php?q=content/realu-reducing-emissions-all-land-uses>
- ASB (2012b) REDD-ALERT. ASB
<http://www.asb.cgiar.org/index.php?q=content/redd-alert>
- CBD (2012) Conserving the Cross River Gorilla Landscape: Piloting a landscape-scale approach to Reducing Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD). REDD desk
<http://theredddesk.org/countries/initiatives/conserving-cross-river-gorilla-landscape-piloting-landscape-scale-approach>
- DFID (2012) Forest Governance Facility. DFID
<http://devtracker.dfid.gov.uk/projects/GB-1-102888/>
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- GFA Envest (2012) Mt. Comeroon- REDD+ Feasibility Study. GFA
http://www.gfa-group.de/envest/projects/gfa_envest_projects_eng_3431628.html
- Global Green Carbon (2010) Cameroon/ The Dja Biosphere Regional REDD+ Project. Global Carbon Project
<http://www.globalgreencarbon.com/projects/cameroon-dja-biosphere-regional-redd>
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011. ITTO
http://www.itto.int/news_releases/id=2663
- IUCN (2012) IUCN's Pro-poor REDD project. IUCN
http://www.iucn.org/fr/propos/union/secretariat/bureaux/paco/cameroun/cameroun_projects/?10377/REDD-Pro-Poor
- MINEP, GAF (2009) Preliminary Results and Perspectives of the REDD Pilot Project in Cameroon. COMIFAC
<http://www.comifac.org/Members/tvtchuante/expose-preliminary-results-and-perspectives-of-the-redd-pilot-project-in-cameroon-dr-joseph-amougou-cameroon-climate-focal-point-minepdr-thomas-hausler-gaf-ag>
- 外務省 (2012) 国際協力 国別プロジェクト概要 カメルーン共和国. 外務省
http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/africa/cameroon/index_01.html
- Planet Action (2012) Sustainable Forest Management in East Cameroon. Planet Action
<http://www.planet-action.org/web/85-project-detail.php?projectID=4742>
- REDD Desk (2012) Making the Forest Sector Transparent. REDD desk
<http://theredddesk.org/countries/initiatives/making-forest-sector-transparent-cameroon>
- Republic of Cameroon (2012) Readiness Preparation Proposal (R-PP) for Country: Cameroon. FCPF
[http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/Cameroon final R-PP-English-October_2012.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/Cameroon%20final%20R-PP-English-October_2012.pdf)
- Republic of Cameroon (2013) REDD Readiness Progress Fact Sheet, October 2013. FCPF
[http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/Oct2013/Cameroon FCPF REDD Readiness Progress Report October2013.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/Oct2013/Cameroon%20FCPF%20REDD%20Readiness%20Progress%20Report%20October2013.pdf)
- Spain-UNEP (2012) Takamanda National Park, Cameroon. Spain-UNEP
[http://listserv.gcfi.org/scripts/wa-GCFI.exe?A3=ind1011&L=CAMPAM-L&E=base64&P=1259853&B=-----NextPart_000_0054_01CB8A53.E0301FC0&T=application/octet-stream;name="LifeWeb Partnership web bro single pgs_final.pdf"&N=LifeWeb Partnership web bro single pgs_final.pdf&attachment=q&XSS=3&ei=4APOUvOTE4yXkgX6poCYDg&usg=AFQjCNFKUiQMuxYDz4pSQE1GSbi2vEx12Q](http://listserv.gcfi.org/scripts/wa-GCFI.exe?A3=ind1011&L=CAMPAM-L&E=base64&P=1259853&B=-----NextPart_000_0054_01CB8A53.E0301FC0&T=application/octet-stream;name=)
- UN data
<http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2011) Compilation of information on nationally appropriate mitigation actions to be implemented by Parties not included in Annex I to the Convention. UNFCCC
<http://unfccc.int/resource/docs/2011/awglca14/eng/inf01.pdf>
- UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: Cameroon. UNFCCC
<http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=CM>
- UNFCCC (2013b) Designated National Authorities. UNFCCC
<http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- WWF (2012a) Tridom (Tri-National Dja-Odzala-Minkebe) Project - Boumba Bek and Nki. WWF
http://wwf.panda.org/who_we_are/wwf_offices/cameroon/wwf_cameroon_conservation/projects/index.cfm?uProjectID=CM0862
- WWF (2012b) Sustainable forest management in Southeast Cameroon. WWF
http://wwf.panda.org/who_we_are/wwf_offices/cameroon/?uNewsID=144321

本レポートは、2013年12月31日までに公表された情報に基づく。